

mFOLFOX6療法(大腸)

【対象症例】

治癒・切除が不可能な進行・再発大腸癌
大腸癌における術後

【登録診療科】

消化器外科、外科

【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
①	デキサメタゾン	6.6mg	30分	day1
	グラニセトロンバック	3mg		
②	レボホリナート	200mg/㎡	2時間	day1
	5%ブドウ糖	250mL		
③ ②と並列	オキサリプラチン	85mg/㎡	2時間	day1
	5%ブドウ糖	250mL		
④	フルオロウラシル(全開)	400mg/㎡	全開	day1
	5%ブドウ糖	50mL		
⑤	フルオロウラシル(持続)	2400mg/㎡	46時間	day1
	生理食塩水	100mL(全量)		
【投与スケジュール】 1コース 14日間				

mFOLFOX6療法(大腸)

【対象症例】 治癒・切除が不可能な進行・再発大腸癌
大腸癌における術後

【登録診療科】 外科

【治療計画】

順番	薬剤名	推奨投与量	投与時間	投与日
①	デキサメタゾン	6.6mg	30分	day1
	グラニセトロンバック	3mg		
②	レボホリナート	200mg/m ²	2時間	day1
	5%ブドウ糖	250mL		
③ ②と並列	オキサリプラチン	85mg/m ²	2時間	day1
	5%ブドウ糖	250mL		
④	フルオロウラシル(全開)	400mg/m ²	全開	day1
	5%ブドウ糖	50mL		
⑤	フルオロウラシル(持続)	2400mg/m ²	46時間	day1
	生理食塩水	100mL(全量)		

【投与スケジュール】 1クール 14日間

【禁忌】(必ず確認してください)

- ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・機能障害を伴う重度の感覚異常又は知覚不全のある患者
- ・テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中の患者及び投与中止後7日以内の患者
- ・重篤な骨髄抑制のある患者
- ・下痢のある患者、多量の腹水、胸水のある患者

【休薬・中止規定】

- ・好中球数、500以下は中止する
- ・血小板数、50,000以下は中止する
- ・Grade3以上の末梢神経障害が出た場合は中止する
- ・Grade3以上のアレルギー症状が出た場合は中止する

【減量基準】

毒性	Grade	5-FU bolus	5-FU infusion	オキサリプラチン
好中球減少	4	400mg/m ² ⇕ 300mg/m ²	2400mg/m ² ⇕ 2000mg/m ²	85mg/m ² ⇕ 65mg/m ²
血小板減少	3,4			
悪心・嘔吐・下痢	3,4	減量なし	減量なし	
神経毒性	2,3			

【注意事項】

【患者の緊急受診(連絡)事項】

- ・38℃以上の発熱
- ・1日3～4回の下痢
- ・身の回りのことができない程の倦怠感
- ・食欲不振が長く続くとき
- ・長く続く空咳とひどい息切れ
- ・急な嘔気・嘔吐

【緊急時連絡先】イムス三芳総合病院(夜間:緊急連絡先、日中:外科外来)

GradeはCTCAE v 4.0に準ずる

プロトコル開始年月日 2017年05月01日
プロトコル責任者 外科 三原 良明